

ながら

第27号

平成23年3月31日

発行

朝日大学職員協議会「ながら会」

題字

宮田 慶三郎

「ながら会」 夏季総会・懇親会 盛大に開催される

朝日大学職員協議会

日時：2010年6月24日
場所：岐阜都ホテル
参加人数：340名



あの店
この店



BORDERLESS KITCHEN
DLOP

歯学部補綴学分野
瀧田 史子



BORDERLESS KITCHEN DLOP
岐阜市西部菱野4丁目10-1-2
TEL.058-272-7575
営業時間 / 17:00~0:00
定休日 / 火曜日
駐車場 / 10台
http://www.dlop.jp/

私の住んでいる柳津町から岐阜市西
部菱野にありますDLOPを紹介し
ます。多国籍料理が食べられるお店
で、白を基調とした一軒家です。一見
ちよっとおしゃれな民家な感じですが、
隠れ家的なお店です。
店内は全席ソファで、とてもゆっ
たりと寛げる空間となっております。個室
もあって間接照明のちよっと暗めの店
内は雰囲気があります。また中小宴会
もできるレイアウトになっているそう
です。

特にチーズ好きなので、パスタにして
もピザにしてもチーズがのっけるもの
はついつい注文してしまうのですが、
このピザもゴルゴンゾーラのあの独特
の香りと、はちみつのかきやみつき
になります。生地も薄めなのですが、
もちもち感もあり、お勧めです。
こういった料理なので、ワインが一
番お勧めかと思えます。ワインの種類
も多種ありますので、スタッフの方に
料理と合ったワインを選んでいただく
のも良いかと思えます。あまりに種類
が多すぎると、何が合うのか分から
ないので私はいつもお店の方に選ん
でいただきます。ワイン以外にも焼酎
やビール、シャンパン、カクテル等あ
りますので、ワインが苦手な方も大丈
夫だと思えます。
ランチやコースメニューもあるそう
です。あまり騒げる様な雰囲気ではな
いので、記念日などゆつたりおいしい
ものをいただきたいときにお勧めのお
店です。皆さんも是非一度行かれては
いかがでしょうか。

Special Thanks
磯崎篤則(歯学部)、古市利夫(事務局)、
田中末男(法学部)、加藤里美(経営学
部)、並合俊昭(歯学部)、磯崎力(事務
局)、宝田直樹(事務局)、川村崇博(事
務局)、中嶋さつき(専門学校)、久野か
おる(留学生別科)、高橋健司(教職課程
センター)、青木尚美(附属病院・医療
職)、吉田百江(附属病院・医療職)、高
橋津也子(附属病院・事務職)、今泉佳
宣(附属村上記念病院・教育職)、伊藤
千明(附属村上記念病院・医療職)、北
野康弘(附属村上記念病院・医療職)、
曾我部樹里(附属村上記念病院・事務
職)、宮田慶三郎(附属村上記念病院・事
務職)



最後に
がんばろうー東北、
がんばろうー日本、
がんばろうーながら会
並合俊昭記

編集後記
未曾有の災害が東北地方を襲い、
多くの人々が苦難な生活を強いられ
ています。日本中の人々から声援や
援助が被災地に届けられている光景
をみると、日本はすばらしい国だと
感激しています。苦しい時にこそ助け
合いの精神が必要だと思えます。な
がら会においても我慢しなければなら
ない時や苦しい時こそ会員同志の絆が大事
になるかと思えます。年末に予定されて
いたながら会総会が一部の職員が原因で
中止となり、多くの楽しみにしていた会員
の皆様にはご迷惑をおかけしました。しか
し多くの皆様は状況を理解していただき、
応援をいただきました。ま
た、平成23年度のなが
ら会総会はその分業し
い催しとなるかと思
います。朝日大学の青
い旗の下でながら会
の更なる発展に期待し
たいと思えます。

同好会だより



ながら会エアロビクス同好会が結成されて今年度で19年目を迎えます。現在毎月2回、木曜日の午後6時からAUCクラブハウスの女子更衣室内スタジオにて活動しています。参加者は多くはありませんが、これからの活動に長く活動が続けたいと思っております。

レッスンは初心者から慣れた方まで、どなたでも気持ちよく参加していただけるように工夫されています。

【連絡先】
大橋たみえ
(歯学部 社会口腔保健学分野)

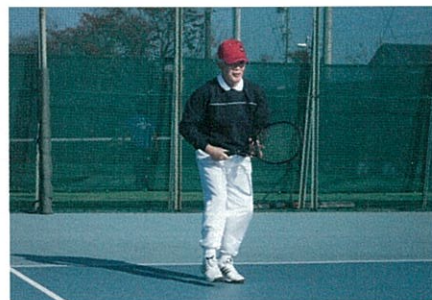
エアロビクス同好会



2010年11月21日(日)、朝日大学テニスコートにおいて合同練習会と親善試合を開催しました。当日は爽やかな秋晴れのなか、気持ちよく汗を流すことができました。歯周病科保存科、生理学、インプラント科など多方面から、会員約20名が参加しました。10時開始で試合形式は3ブロックの予選リーグを行い、上位チームで決勝トーナメントを行いました。関根・吉田(保存)組が優勝、川村(生

理)、水谷(補助員)、白木(歯周)、金山(歯周)、北後(歯周)、木村(歯周)、森(保存)の各選手が優秀な成績を収めました。3時間の熱戦のあと6号館のオープンテラスで懇親会を行い、軽食と歓談、表彰式を行いました。入賞者には豪華賞品と参加者全員に参加賞を贈りました。お天気に恵まれ大きな怪我や事故もなく、ただただ日ごろの運動不足がたつた次の日の筋肉痛と日焼けの辛かったこと。練習会は不定期ですが、歯周病科保存の医員に声をかけてください。冬場のトレーニングを怠らず、次回開催にはより多くの会員のご参加をお待ちしております。

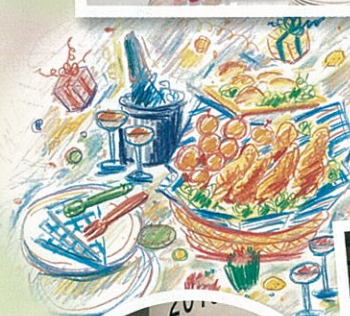
【連絡先】
吉田隆一
(歯学部 歯科保存学分野)



硬式テニス同好会



賑やかな懇親会風景



朝日大学職員協議会 「ながら会」の代表を2期務めて

代表 磯崎 篤則

朝日大学職員協議会「ながら会」は、朝日大学をよりよい大学にするために、学校法人朝日大学と職員が建学の精神に則り、相互に相手方の立場を尊重し、かつ、理解と信頼を深め、本学の発展のため必要な協力をすること並びに会員相互の親睦と会員から本学へ要望等がある場合、本会が定めた代表を通してこれを伝達し、協議の場を持つことを目的として4年前発足しました。

穂積事業所、附属病院事業所、附属村上記念病院事業所より幹事が選出され、各部署からの生の声を聞き、年に4〜6回開催される幹事会でまとめ、法人代表と種々の事を協議してきました。教育、地域医療、事務系などさまざまな職種から出される声をまとめることは大変難しいということをこの4年で実感しました。

協議会が発足して初めての事は、職員協議会総会を夏と冬の2回にすることでした。また、夏休みの取り方と期間についても変更ができました。また、大学の耐震検査とその対応をお願いしました。最後の年には、長年変化がなかった医療職の待遇見直しについてお願いし、実現しました。

しかし、週休2日制、託児所、有給休暇の買い取りなどの問題は、地域の医療施設であり医療サービスに支障が生ずる、独自の託児所設置には要望が様々でまとまらないこと、労働基準法に抵触することなどから解決できませんでした。

2010年冬の職員協議会は、私たち幹事にとつて最後だから皆さんの記憶に残る会にしたいと一同が一所懸命準備を進めていました。しかし、最近大学前や村上記念病院前でピラを配布している人たちが総会時に乱入するとの情報が私のもとに届きました。その情報が入ったのは、会を開催する1週間前です。今回、被害者とされてい

る方は、ながら会会員ですが、それ以外の教室の方はだれも入会しておられないことも判明しました。また、彼を守る会の代表と名乗る人が所属する組合は、わが国にある労働組合のなかでも過激であることも知りました。総会を開催すれば、ホテルで大変な混乱が生じる可能性が高い、私は判断しました。総会前日に幹事委員を招集し、みなさんと協議した結果、苦渋の選択でしたが中止を決定しました。皆様への連絡が、総会当日であったので、多くの方(ドレアップしてこられた方、お酒を飲むから種々の方法で大学に來られた方など)にご迷惑をおかけしたと思います。心中からお詫び申し上げます。しかし、大学で会う多くの方々は、私に優しく「たいへんですね」と気遣う声をかけて頂きました。本当にうれしかったです。ありがとうございました。

さて、この事により当日予約していたホテルへの違約金、みなさんに準備していた今までのないたくさん賞品に開く費用などは、学校法人朝日大学にお支払い頂くようにお願いしました。先日その会計処理が終了したと聞いております。次回に回せる物については大学の倉庫に保管し、夏の大会が開かれるとき紐解かれるものと夏にまた、冬の大会に準備していた費用についても繰り越せるようにしました。

朝日大学がよりよい大学に成長するために、気遣のない意見交換をする場を設け職員と学校法人とで協議していく必要がこれからもあると思います。1期目のころは、協議会に落胆の声も聞きました。それを私の糧として2期目を務めました。3期目のみなさんに、大きな荷物を残したかもしませんが、朝日大学職員協議会「ながら会」の目的達成のためよろしくお祈りします。



2010年7月17日(土)からの三連休、高山市丹生川町の乗鞍山麓に広がる中部山岳国定公園を散策できるガイド付きの山歩きツアー「五色ヶ原」にチャレンジした。日曜日には降り続いた雨が上がり、晴天となり、同時に梅雨明けが発表された。五色ヶ原の山歩きコースは、カモシカコースとシラビソコースの2種類があるが、我々は初心者向けのカモシカコースを選んだ。会員のほとんどが山歩きの未経験者で梅雨明け直後の足もとの良くない状況で緊張のスタートだったが、しばらくするとガイドのおじさんの説明にも少しずつ慣れて、まわりの景色を楽しめるようになる。途中で、小八賀川の支流には久手御越滝、池之俣御興滝、仙人滝、青垂滝の雄滝と雌滝、横手鳴る滝、布引滝の7種類の滝が間近に観られ、滝しぶきで体がクールダウンされて心地よい。昼食はコースで用意されているおにぎり弁当を山小屋で食べる。連休ということ

私たちの他、沢山の方々で小屋はほぼ満員になった。初心者コースとはいえず、早朝から約7時間の山歩きは足腰に堪え、翌日は全員が筋肉痛を思うことになった。最終日には、その痛みを和らげるため、長野県松本市の白骨温泉へ向かった。有料道路無料化の社会実験のため平湯温泉から坂巻温泉方面への安房トンネルを無料で抜けることができた。名湯で知られる白骨温泉は、空気に触れて白濁する硫黄臭の強い湯を特徴とする。受付を済ませると男風呂1カ所、女風呂が2カ所の案内があった。少し不思議な感じがしたが後でその謎が解ける。男湯で体を流してから奥にある露天風呂に向かい、よいしょと湯船に浸かると、なんと女性が目の前に！湯気立ちこめる白濁の風呂で経験した混浴風呂の話は男性会員から聞きながら静かに男湯で汗を流した。ともかくいい経験と思いができた連休であった。



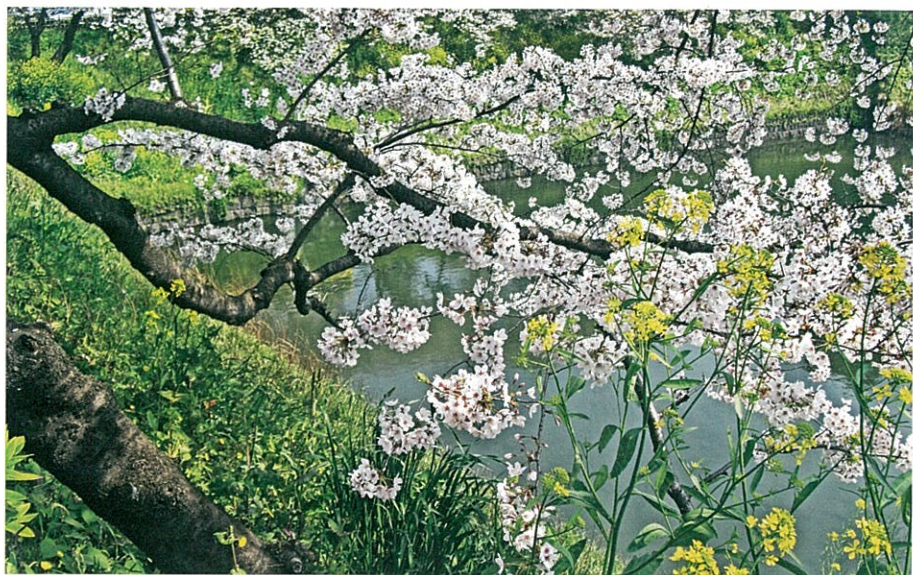
〔連絡先〕
柏保正典
(歯学部 歯科薬理分野)

〔宝の地図〕
2006年に青い金属光沢に輝くカワセミが目の前を横切るのを犬の散歩中に目撃したキマイテ以来、鳥見にずっとほりはまりました。歩くのが大嫌いだっただが、今では週末デジカメとスコップを担いで野山を歩き回り初見の鳥をもとめて写真を撮るようになりました。宝探しの興奮があるのです。

鳥好きの人は、仲間と情報を教えあつて行動するグループ派と単独派に分かれます。私は人から情報をもたず遠出もムダ足となりがちですが、何か見つけたときの満足感が忘れられません。朝日大学の周りでも季節やポイントで約40種の鳥を見ることが出来ます。オオタカやノスリなどの猛禽もいます。

タカ、ハヤブサなどを見つけることができます。9月金華山に登れば、サシバ、ハチクマ、ノスリ、ツミなどのタカの渡りが観察できます。何十羽が上昇気流をとらえて飛ぶ姿は壮観です。伊吹山では珍しいイヌワシを間近で見ることが出来ますし、琵琶湖西岸ではほぼ北海道にしかないオオワシを観察できます。宝探しをしたい方は声をかけてください。宝の地図をこっそりお教えします。

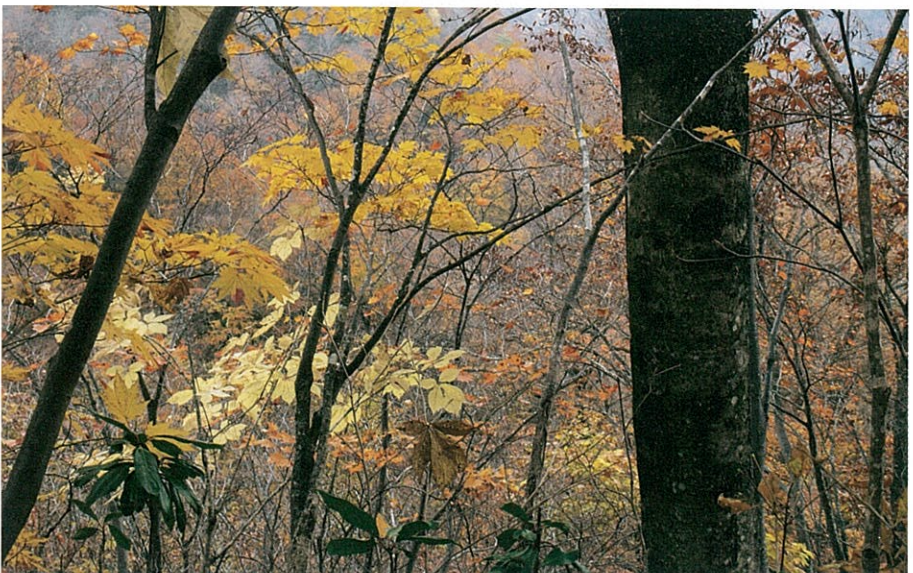
〔文責〕
岩崎大介
(経営学部)
〔連絡先〕
高井良招
(歯学部 口腔外科学分野)
梅原則明
(口腔科学共同研究所)



〔春〕 宮田 侑 (理事長)



〔夏〕 小笠原 昭 (監事)



〔秋〕 菱田 健治 (事務局長)

スポーツ応援同好会

本会会員に限らず、そして老若男女に関わらずスポーツに接することは多いかと思えます。それは自らがスポーツをすることがなくても、観戦するだけでも大好きという人も多いからだと思います。

さて、本会は本学学生スポーツを応援することを主体として設立されており、会員相互で誘い合わせて応援に出かけているのはもちろんのこと、メールアドレスを持つ会員に本学体育会情報を配信しています。

昨年4月以降12月までの各クラブの主な配信回数は、

- ラグビー部 28回
- 硬式野球部 19回
- 相撲部 15回
- 卓球部 14回
- ホッケー部 13回
- バレーボール部 8回
- フエンスング部 7回
- ハンドボール部 4回

また、例年数名の入退会者があるものの、この数年の会員数は約70名をキープしていて、懇親会には多

くの出席者(写真は2009年度懇親会、出席者42名)があります。そして、スポーツをはじめとして様々な話題で盛り上がりつつあります。

2010年度懇親会も、大友学長、渡辺前本学会会長ら数名が「きふ清流国体懇談会」に出席のために欠席ですが、それでも37名が参加されました。

本学学生のスポーツ応援に参加していただける方、そして、スポーツが大好きな方の本会への入会をお待ちしています。



【連絡先】
田村康夫 (歯学部 小児歯科学分野)
梅原則明 (口腔科学共同研究所)



卓球同好会

第34回ながら卓球大会は平成22年12月11日(土)、本学A.U.クラブハウス内卓球場において開催されました。今回の参加者は例年に比べ少なく4チームで、応援の人を含めて約35名でした。しかし、試合の方はなかなか白熱し、その結果、経営学部チームが優勝しました。

卓球は天候に左右されず、小人数、小スペースで手軽にでき、且つ、運動量



も適度にあるスポーツです。日頃の運動不足解消やストレス解消のためにも是非、ご参加ください。次回の35回大会は平成23年12月10日(土)に予定しております。



【連絡先】
中嶋正人 (歯学部 歯科保存学分野)
河合智親 (学事部 学生課)



囲碁・将棋同好会

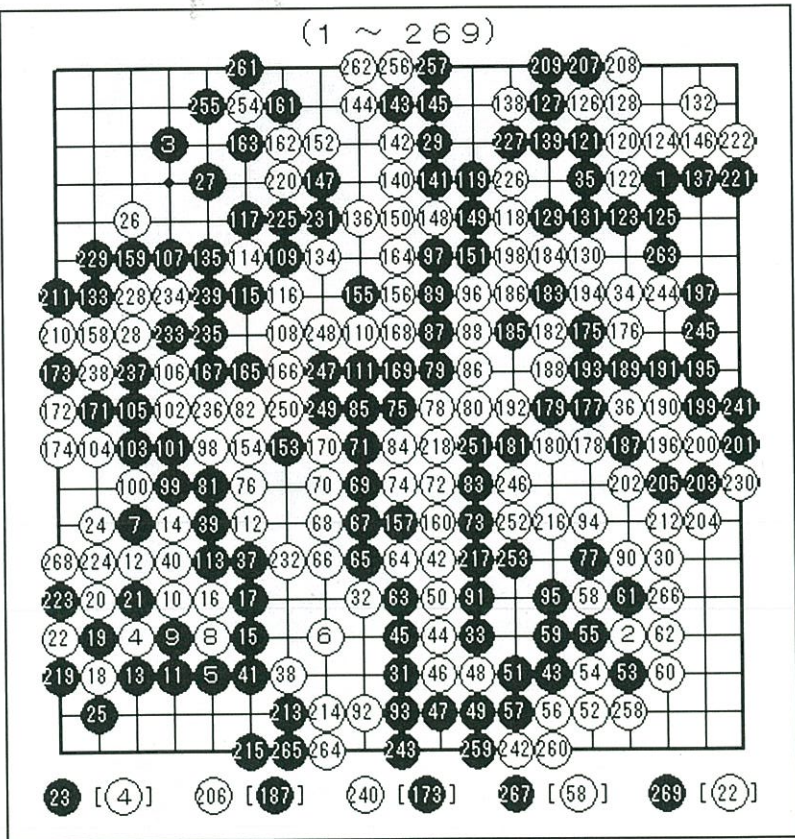
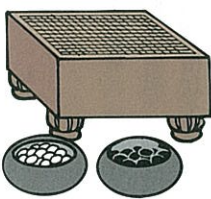
「ながら会」囲碁・将棋同好会の本年度の活動報告を致します。まずは、例年のごとく学外活動として、第27回中部地区大学教職員囲碁大会が日本棋院中部総本部(名古屋)で2010年7月11日(日)に開催され、少数精鋭でこの大会に参加しました。しかし成績は残念ながらいまいちでした。学内では、年に2回ほど囲碁大会を開催しております。本年度の学内大会においては、経営学部から3人の先生方にも新たに参加してもらい、また歯学部の学生2名の特別参加もあり、新鮮さを感じました。さらに年度末には第38回学内囲碁大会を開催する計画をしています。

囲碁は4千年前に中国で発生し日本に伝来したのは1千5百年前と言われている。源氏物語の時代から愛され、江戸時代の家元制度や名人碁所など日本が育てた伝統ある文化です。囲碁は将棋と違ってそれぞれの石に意味があるわけではなく、配置に意味があります。

自分の領土を広げながら相手の領土を狭めていく遊びだと認識しています。そして、将棋は相手から奪った駒を自由に使うことが出来るけど、囲碁は奪った石は自分のものとして保持しているだけとなります。将棋が戦場でのゲームだとしたら、それは戦略のゲームだといえると思います。これは陣取り合戦ゲームでより多くの陣地を広げたもの勝ちという非常にシンプルなゲームであります。一つの石を囲むことによって囲まれた相手側の石を消す事ができ、シンプルなルールで有りながらも非常に奥が深いゲームです。このゲームは実は脳トレーニングにもなるのだそうです。というのはこのゲームをすることによって記憶力とかが増すみたいです。頭を使うゲームなので子供の教育にもよいらしくて、状況を面で見る訓練としてもよさそうです。そんなゲームなので深く入っていくとなかなか難しく、定石を覚えたり、上級者の打ち方を学んだり

と結構難しいです。それだからこそおもしろさがあり、多くの人に楽しまれているところだと思えます。やればやるほどその楽しさが分かると思いますし、人生の楽しみにもなるのではないかと思います。この紙面を読まれ、少しでも興味が沸いたら初心者の方でも是非気軽に声をお掛け下さい。また速慮なく囲碁会場に顔を出して下さい。会員一同お待ちしております。

【連絡先】
足立正徳 (歯学部 歯科理工学分野)



棋譜

第33期 棋聖戦(白番：張栩棋聖 黒番：井山裕太名人)
●第3局 平成23年2月2日(水)・3日(木)



草間彌生：命の足跡
(あいちトリエンナーレ オアシス21にて撮影)

今年度、本同好会は次の四つの芸術鑑賞会を企画しました。

一、新たな芸術の鑑賞
2010年は4月にヤマザキマザック美術館が開館、八月から十月にかけては国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」第一回開催と、名古屋が非常に盛り上がった年でした。芸術鑑賞同好会ではいち早くこの動向に注目し鑑賞の機会をもちました。

るものでした。

二、能・狂言鑑賞
経営学部の米田先生も開催に協力されている「名古屋能楽堂定例公演」を鑑賞しました。鑑賞した演目は昨年から続くシリーズ「能・狂言でたどる天下統一の道」のうち、能「邯鄲」と狂言「鼻取相撲」でした。

三、絵画鑑賞
岐阜県美術館で「20世紀美術への招待状―ピカソ、シャガールから横山大観、武内栖鳳まで―」と題し富山県立近代美術館・富山県水墨美術館所蔵の絵画を、また愛知県美術館では「愛知県美術館所蔵作品展」を鑑賞しました。

会員にもお馴染みの美術館ですが、いつも色々な楽しい企画が提供されています。

四、クラシックコンサート
この原稿を執筆中の時点で2011年3月の行事も予定されており、内容はサラマンカホールにおける「大阪フィルハーモニー交響楽団第34回岐阜定期演奏会」鑑賞です。ベートーベン、モーツァルト、ハイドンの調べが今から楽しみです。

このように芸術鑑賞同好会では様々な分野の芸術を楽しむ、理論や理屈は抜きに会員同士の親睦を深めています。今後も皆様のご参加をお待ちしております。



草間彌生：真夜中に咲く花
(あいちトリエンナーレ 愛知芸術文化センターにて撮影)



【文責】
安藤美紀
(図書館事務)

【連絡先】
小菅康徳
(歯学部 口腔解剖学分野)

釣り同好会

今年の釣り同好会は、元代表が3月に退職されたので退職祝賀会を前日に行い、5月28日に記念釣り大会を開催した。小浜で、のんびり底もの釣りを予定していたが日本海悪天候のため中止。折角なので、師崎のアジ釣りに変更した。太平洋も日本海ほどではないがかなり荒れ模様。船が大きく揺れるなか、やっと伊良湖沖まで出た。うねりの中ポイントが定まらず、

きた。少し、海が落ち着きだしたところアジ独特のアタリ、艦のほうから釣れだした。上がってくるアジは30センチを超える良型。次々にアタリが出だし全員取り込みと餌の詰め替えが忙しくなる。たまに、良型マサバも顔を見せみんな恵比寿顔。帰りの船中で、釣りたてのアジ、サバを刺身にして、今日の釣り談議に花が咲き、荒れた釣行も無事港についた。

6月8日、小浜での底もの釣りにリベンジ。底もの釣りは生きたアジを餌に泳がせ釣り。生きたアジが購入できなければ釣りにならない。いつも購入する釣具店にはなく、道中にある数件の店にもアジが全くない。ネットで調べると京都の宮津市由良の釣具屋にあるとの情報キャッチ。いつもより早い時間に集合して、高速を大垣から京都、宝塚、綾部を経由して大江で降りる。よれよれのアジではあるが生きている。これをもって、いざ大海原へ。

今回は、餌購入の努力があり、釣果にもいい結果が得られた。キジハタ、ソイ、ガシラ、ウマズラ、大アジと大漁。



8月8日第3回目ながら会釣りを開催。元代表が出席できずちよつとさみしい大会かと思いきや新人3名が加わり賑やかな会となった。午前中、新人2人のいる右舷の釣果がよく、左舷の新人とベテランは沈黙状態。しかし、午後は一変して左舷の新人とベテランが絶好調になり、右



舷は沈黙。キジハタ、鬼カサゴ、沖メバル、アジ、ウマズラハギ、ガシラなど魚種豊富で賑やかな釣果に終わった。釣果におぼれ、また元代表がいなかったため、記念写真なし。大失敗。

晩秋の師崎でワラサが釣れているとの情報から、釣り大会を計画。たくさん釣れるはずが潮動かずアタリがでない。うたせエビが餌取りにとられるだけで本命のアタリなし、仕掛けにうたせエビがうまくかけられずさらに苦戦。久々にアタリがあるが、竿がひとのしざれ仕掛けが切れるアクション。もう、今日はボウズかと諦めたところ、新人がハマチをかける。記念写真の釣果は少しさみしい。

来年は、海だけでなく、川の話もできれば幸甚である。

【文責】
磯崎篤則
(歯学部 社会口腔保健学分野)



スキー・スノーボード同好会

1月15日から16日の2日間、毎年恒例の「ながら会 スキー同好会・スノーボード同好会合同ツアー」を行いました。会場は、長野県のエコパレースキー場、例年、若手の女性会員の参加が多いことから「おしゃれ」なプチホテルのなかで、我々ローレルに必需の温泉完備の宿を選びました。

正月前からの豪雪で、ゲレンデの状態は良好ですが、当日は寒波の襲来により吹雪の不安もある中での開催となりました。また、インフルエンザの流行などもあり、23人と例年よりも若干少ない参加人数での出発となりました。幸いツアー中、時に小雪が降る程度の良い天気、到着早々からナイターゲレンデに繰り出すグループあり、食べ放題の「しゃぶしゃぶ」にひたすら舌鼓を打つ者、ジャグジーで長湯を楽しむ者と、それぞれに、1日目を楽しみ、2日目は昼過ぎまでのなかで参加者全員に十分にスキーやスノーボードを

楽しんでいただけたようです。

しかし、帰りのバスが発するころから雪がしんしんと降り始め、岐阜に近づくにつれ、そこは、大雪の世界。30cmを超えるかと思える雪の中から、車を掘り出すのがたいへんでした。来年も1月末ごろに合同

ツアーを開催する予定です。スキー・スノーボードを愛好される多くのながら会会員の皆様のご参加をお待ちしています。もちろん初心者の方々も大歓迎です。



【幹事長】
磯崎篤則
(歯学部 社会口腔保健学分野)

【幹事】
住友伸一郎
(歯学部 口腔外科学分野)

森下ひとみ
(看護部)

後藤洋一
(村上記念病院)

紳士・淑女の知的なゲームである麻雀をよまなく愛するメンバーの集まりである麻雀同好会をご紹介します。学部を問わず、部署を問わずメンバーが集まり、毎年2月に同好会総会を開催し、1年の成果を競いあっています。今年度は、

麻雀同好会

松井孝介先生(歯学部)が名だたる強豪メンバーを退け優勝しました。また、今回の大会では同好会初の女性メンバーに参加いただき、花を添えてもらいました。次回も来年2月に開催する予定です。是非ご参加ください。



【連絡先】
山内六男
(歯学部 歯科補綴学分野)

フィラデルフィア研究留学

Philadelphia

安田忠司

2011年3月に帰国してからほんの少ししか経たないが、海外で暮らしていたのは遠い過去の良い思い出のように感じられるほど日本の生活に慣れてしまっているが、研究留学で感じたことを乱筆であるが報告いたします。

留学始め

研究留学のきっかけは、病理学分野永山元彦先生の勧めでありました。人間的魅力に溢れた先生であり留学について話を重ねるうちに留学に対する期待が膨らみ、すぐに留学したくなりました。妻は学生時代に語学留学を経験しており海外留学を抵抗なく受け入れてくれ、子供は就学前で留学するにはベストであると判断しました。そこで筆者のボスである園周病学分野教授、渋谷俊昭先生に相談すると快く許可していただき、非常に感謝しています。

留学に際し本学園周病学分野

の研究テーマの一つである園周

組織の再構築、特に歯槽骨の再生を実現するために、留学先機関で行なわれている研究手法を習得することは、本講座の研究をおおいに発展させる可能性があるかと判断し、平成21年3月から平成23年3月までアメリカ合衆国 フィラデルフィア Thomas Jefferson University Orthopaedic Surgeryに留学しました。

フィラデルフィア

筆者の留学していたフィラデルフィアはアメリカ合衆国独立の地として知られていますが、実は人口で全米第5位になる巨大ビジネス街でもあります。残念ながらフィラデルフィアに拠点を置く日系企業はあまりなく、日本人ビジネスマンはそう多くはいません。一方、大学は沢山あり、雷が電気であることとを証明したことも知られる

建国の父 Benjamin Franklin

の設立した名門校 University of Pennsylvania をはじめ

Drexel University、 Temple University、 筆者の勤める Thomas Jefferson University などの大学が市内に、そして郊外にも津田塾の創立者津田梅子の留学先である Bryn Mawr College や Villanova University などレベルの高い大学が充実しています。そのため、フィラデルフィア地域に住む日本人は学生と研究者がかなりの人数を占めることになりました。

フィラデルフィア

映画ロッキーの街、オーケストラの街、映画フィラデルフィアにあるようにゲイの街など色々な顔を持っています。治安が悪いと言われていますが(実際、アメリカの地方と比べたら悪いかもしれませんが NY や LA よりはマシなはずですが)住んでみると以外と居心地が良いものです。

す。

ポストドク事情

留学先ラボはイタリア人の教授に日本人の主任研究者3人がいてポストドクが6人、そのうち5人が日本人で、残り1人がイタリア人。あとはアメリカ人大学院生、テクニシャンが4人で構成されており大部分が日本人のためラボ内で日本語が飛び交い、日本語のプロトコルが転がっていることもある珍しいラボでした。

研究事情

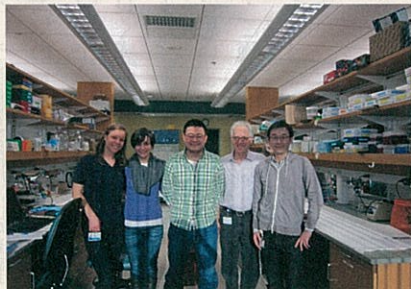
筆者の所属する研究グループは Eiki Koyama 先生を中心とし分子生物学的手法を用いて下顎骨の発生を研究しており、近年、インディアンヘッジホッグ (Indian hedgehog) のシグナルが発生初期の下顎頭の形態形成に必須であることを世界に先駆けて報告しました。また平成22年度には NDS1 特異的欠損マウスの下顎頭の形成不全を



▲ある日の筆者ベンチの様子
ベンチと端にはデスクワークスペースがポストドク1人と与えられるのは標準的であり日本と比較すると恵まれている。



▲冬のフィラデルフィアセンターシティの風景



▲筆者の属したラボチーム
右から2番目の人物がラボの教授 Pacifici で不器用な筆者は大変お世話になりました。中央が筆者です。

詳しく解析するとともに、下顎頭軟骨の成長過程に関与する遺伝子群の時空的な発現を、in situ hybridization 法を用いて詳細に観察しました。この成果は Journal of Dental Research に掲載されました (Yasuda et al. J Dent Res. 2010)。現在は、留学経験を生かし歯周組織の発生過程における Periodontal ligament stem cells (PDLSCs) の局在とメカニズムの制御という研究テーマで歯周組織と PDLSCs における関係を遺伝子群の発現制御と、細胞組織レベルで機能を明

まとめとして

・実験テーマも大事だがボスとの出会いは最も大事
・Lab mate は将来のコンパチターとなるので思考回路を知る
・妻、子供、家族がハッピーであれば留学はほぼ成功
・朝日大学海外研修制度は優れた制度と思う
(歯学部 歯周病学分野)

新入会員所感

ご挨拶

2010年4月より歯学部口腔病態医療学講
座口腔病理学分野教授および村上記念病院病理
部教授(兼任)に就任しました。私の略歴を紹介
しますと、鹿児島大学歯学部を1994年卒
業後、同歯学研究科へ進学し、埼玉県立がん
センター病理部朝日大5期卒業出雲先生ご指導
1994~1997年へ内地留学(実家が近
所という理由)、学位取得後は鹿児島大学大
院歯学総合研究科助手(1998~2005
年)、さらに京都大学第1病理学(日合弘名誉
教授・滋賀県立成人病センター総長兼研究所
長)やイタリアミラノの国立がんセンター研
究所実験腫瘍学(D. Testa)部長(2000~
2002年)では肺癌と乳癌の発がん感受性の
研究、また九州・沖縄地方の疾患でハブ咬傷に
よる筋肉壊死を抑制するインヒビターを開発
する研究(現在のハブ血清は筋肉壊死に効果が
ないので治療薬を国土交通省の研究班にて開発
中)など多くの研究分野を学び、2005年か
ら同研究科准教授に昇進し、朝日大学に赴任し
て参りました。

歯学部 口腔病理学分野

田沼順一

ところで、皆さん病理診断をご存知ですか？
歯学部出身者でも日常の歯科臨床の現場で、治
療に携わっている臨床医の皆さんにとって、病
理組織検査というのは非日常的なものかも知れ

ません。実際、歯科疾患で病理検査をしなけれ
ば診断と治療方針が立たないというものは皆無
でしょう。一方、白板症や悪性腫瘍などの口腔
粘膜疾患では、生検によって診断を確定する事
が必須である事は十分承知されている事と思
いますが、その様な症例の多くは大学病院など
地域の二次治療病院へ紹介され、そこで生検と
ともに治療もなされているのだと思います。ま
た中部地方では、日本病理学会口腔病理専門医
はわずか4名しかいないので、世間ではまった
く知られていない診断業務です(2009年よ
り標榜科)。しかし病変に対する深い理解と診
療の成功に結びつく所見を得るべく、共に学
びたいと考えており、是非「歯科疾患の病理組織
検査」を臨床医や患者様にお勧めしたい検査項
目にしたいため、日々広報活動をしております
が、残念ながら十分浸透していない現状で、こ
れからも精進します(詳細は口腔病理学分野の
ホームページ参照)。

今後は、ながら会の皆様方には、いろいろな
機会でお会いすることが増えてくると思いま
すが、あらゆる点でまだまだ未熟で、朝日大学の
ことは全く分かっておりませんので、ご指導お
よびご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

ご挨拶

歯学部 口腔微生物学分野

村上幸孝

私は2010年4月に口腔微生
物学分野の教授に就任しました。
略歴を紹介しますと、大阪大学歯
学部を卒業後、母校の予防歯科学
講座において学位を取得し、海外
留学後の数年間は開業医や企業の
研究所にも勤務しました。その後、
愛知学院大学歯学部微生物学講座
で講師の職を得てからは、助教授・
准教授を経験し、現職に至ってい
ます。

朝日大学では、学生に対する授
業や試験のことを考えているうち
に、あわたたくし1年が過ぎました。
歯周病に関連した口腔細菌の研究
は徐々に進めています。

休日には、長年乗り続けている
愛車でのバイクツーリングや凧揚げの
会に参加することが多く、野外で
遠くを見つめ、風に吹かれながら気
分転換に努めています。

ながら会の皆様には、今後とも
温かく見守っていただくととも
に、ご支援、ご鞭撻を賜りますよ
う、よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

歯学部 歯科保存学分野

服部真丈

今年度よりながら会に入会させ
て頂くこととなりました。朝日大
学附属病院口腔機能修復学講座歯
科保存学分野の服部真丈です。
学生時代はサッカー部に所属
し、卒業後もフットサルを行っ
りしていましたが、最近ではゴルフ
が趣味というふうに変わってきま
した。天気のいい日に緑に囲まれ
たゴルフ場で味わう雰囲気がとても
心地良く感じられます。

まだまだ、未熟な部分がたくさん
あると思いますが、これからの
ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い
いたします。

新幹事紹介

代表幹事就任

あいさつ

永原國央

まずは、東日本大震災に
より多くの方々被災され
たことに対して、心よりお
悔やみとお見舞い申し上げ
ると共に、本「ながら会」会
員の御家族、御親戚、お友
達等で、震災の被害に遭わ
れた方も大勢お見えになる
と思いますが、重ねて心よ
りお見舞い申し上げます。

この度、磯崎前代表幹事
の後を受け、皆様の御支持
を頂き朝日大学職員協議会

「ながら会」代表幹事に就任
しました。歯学部 永原國
央(ながら会)と申
します。皆様の中には、初
めてという方も多くおられ
ると思います。簡単に自
己紹介させていただきます
。生まれは四国、香川県。
1974年、当時の岐阜歯
科大学に入学し、その後、
岐阜での生活を続けており
ます。大学での職員歴が32
年目に入っております。

代表幹事として、職員の
皆様の親睦を深めることか
ら始まり、福利厚生の上
をはかることがまず大きな
役割であると認識しており
ます。さらには、雇用者で
ある学校法人朝日大学と
我々職員とのコミュニケー
ションを取りながら、大学、
病院といった職場での問題
解決に当たっていくことが
重要であると考えていま
す。こういことが、我々
の職場での環境を整え、効
率よく成果を上げることへ
と繋がり、ひいては学校法
人朝日大学の繁栄に貢献す
るものであると考えます。

ものなのです。
この「ながら会」でも「助
け合い」「思いやり」を大切
にし、職員の皆様が充実し
た生活を送り、学校法人朝
日大学が社会で大きく認め
られる組織として発展して
いくために、誠心誠意努力
していく所存です。どうか
皆様の御協力をよろしくお
願い申し上げます。

今回の大震災において、
被災地で多くの人達が実感
していることの中で、「人
間関係の重要性」というも
のがあります。「助け合う」
「思いやる」ことで人と人の
輪ができ、そのことが、非
常事態あるいはパニックに
陥った時に、命を救ったり、
絶望感から立ち直る勇気を
与えてくれたりすることが
できるのだと思います。人
は一人では生きていけない



代表幹事
永原國央
(歯学部)

副代表幹事



副代表幹事
菱田亮平
(事務局)



幹事
齊藤康輝
(法学部)



幹事
松井かおり
(経営学部)



幹事
柏俣正典
(歯学部)



幹事
青木要介
(事務局)



幹事
佐久間美由紀
(事務局)



幹事
安藤美紀
(図書館)



幹事
尾藤仁美
(歯科衛生士専門学校)



幹事
下野正代
(教職課程センター)



幹事
大島亜希子
(医療職)



幹事
森下ひとみ
(医療職)



幹事
柘植隆志
(事務職等)



幹事
今泉佳宣
(教養職)



幹事
澤田佳克
(医療職)



幹事
足立浜子
(医療職)



幹事
伊藤由紀子
(事務職等)



幹事
青木百合
(事務職等)



監査委員
松野ハマ子
(事務職等)



監査委員
浅井徹義
(附属病院事業所)



監査委員
野村美由紀
(村上記念病院事業所)

